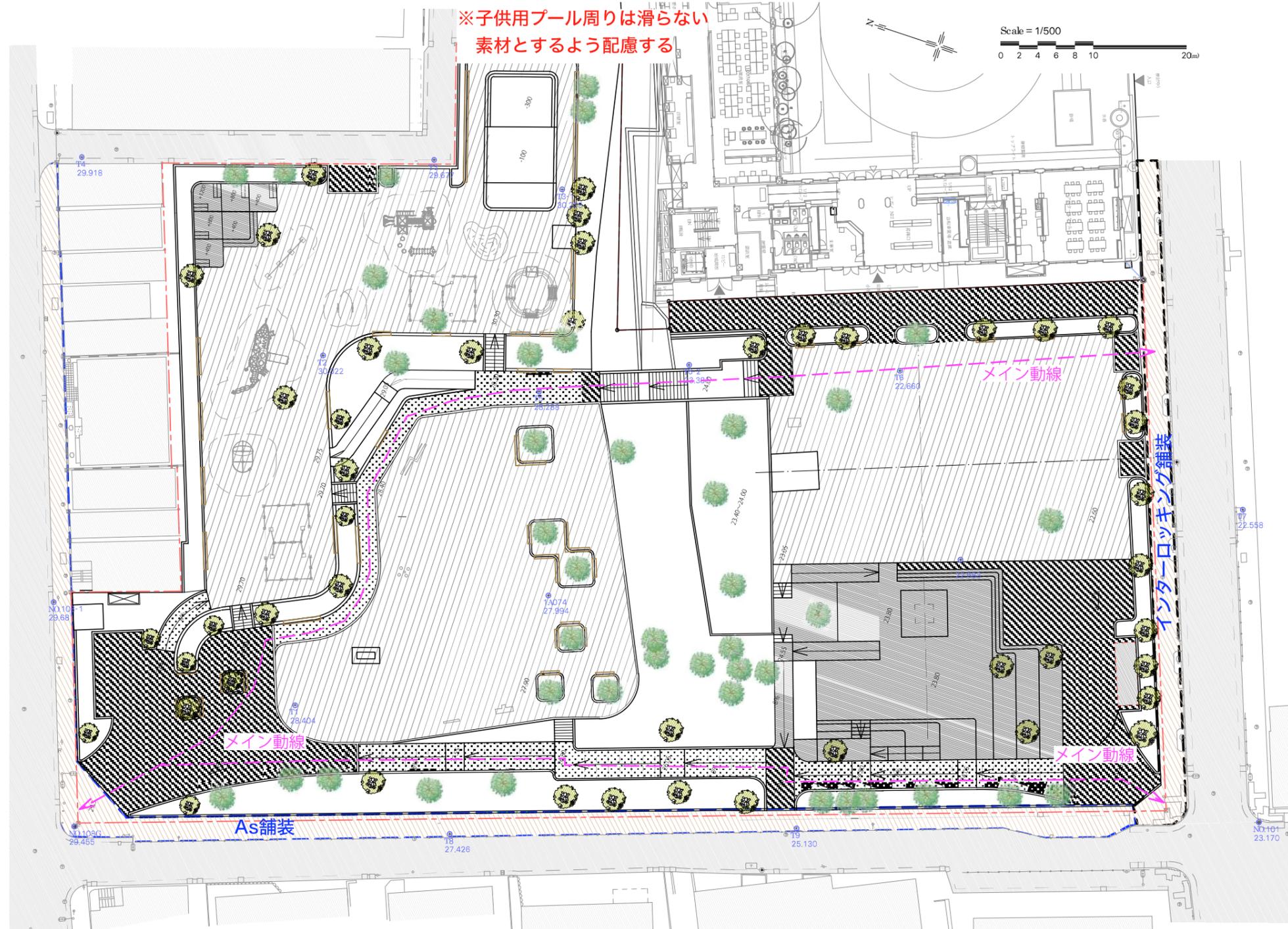


四阿、車止めの比較

|                    | 四阿、キャンピー  |   | 車止め H=600mm程度  |  |  |
|--------------------|---|---|--|--|--|
| 仕様                 | 鋼製  | 鋼製+合成木材   | アルミタイプ   | アルミ鋳物タイプ   | スチールタイプ  |
| 事例写真               |  |  |  |  |  |
| 景観性                | ○<br>シンプルなデザインであり、公園に馴染む  | ○<br>温かみのある素材感で公園に馴染む   | ○<br>直線と曲線を用いた形状で公園のデザインに馴染む   | △<br>曲線を用いたシンプルなデザイン   | ○<br>直線を用いたシンプルなデザイン   |
| 統一性                | ○<br>基本形状・仕様を揃えることが可能   | △<br>別製品なので、形状・仕様は完全には揃わない  | ○<br>車止めと柵で統一が図れる  | ○<br>車止めとチェーンで統一が図れる   | ○<br>長さのバリエーションがある   |
| 維持管理性              | ○<br>再塗装することで継続して使用できる<br>※塗装の仕様により再塗装のタイミングは異なる                                    | △<br>再生木材の耐用年数は概ね15年程度<br>再生木材については交換が必要となる   | ○<br>再塗装することで継続して使用できる   | ○<br>再塗装することで継続して使用できる   | ○<br>再塗装することで継続して使用できる   |
| 四阿：利便性<br>車止め：脱着可否 | ○<br>片持ち構造のため、柱が少なく有効利用できる  | △<br>柱が4本となり、比較すると利便性が劣る  | ○<br>脱着式に変更可能  | ○<br>脱着式に変更可能  | ○<br>脱着式に変更可能  |
| 経済性                | ○<br>初期費用は比較して高いが、ランニングコストは低い   | △<br>初期費用は比較して低い、ランニングコストは高い  | ○<br>経済的に優れている   | ○<br>経済的に優れている   | ○<br>経済的に優れている   |
| 総合評価               | ◎ 適している   | △ 適していない  | ○ 適していない   | △ 適していない   | ◎ 適している  |

# 舗装計画案

- ・素材感のある舗装材を選定する  
(子供が多く利用することから、極力天然の素材を使う)
- ・遊具等遊ぶ場所は硬い素材を避ける
- ・素材及び色彩は数を増やさず、公園全体での統一性を図る



■脱色As舗装



■平板ブロック舗装



■ウッドデッキ



■クレイ舗装



## 舗装の比較

- ・素材感のある舗装材を選定する  
(子供が多く利用することから、極力天然の素材を使う)
- ・遊具等遊ぶ場所は硬い素材を避ける
- ・素材及び色彩は数を増やさず、公園全体での統一性を図る

| 仕様    | 脱色As舗装  | 透水性洗い出しコンクリート舗装   | 透水性高炉スラグ舗装   | 平板ブロック舗装  | 石舗装   | ダスト舗装   | 透水性保水型舗装 (クレイ舗装)  |
|-------|---|---|--|---|---|---|---|
| 事例写真  |  |  | <br><a href="http://www.sanwagrd.co.jp/color-sand">http://www.sanwagrd.co.jp/color-sand</a> |  |  |  |  |
| 景観性   | ○<br>温かみのある色合いと素材感であり公園や植栽との相性が良い   | ○<br>温かみのある色合いと素材感であり公園や植栽との相性が良い   | △<br>暖色系であるものの、塗料の色合いとなる   | ○<br>温かみのある色合いと素材感であり公園や植栽との相性が良い<br>※色合いの選択には要注意                                   | ○<br>天然素材の色合いがあり、素材感に優れる  | ○<br>舗装後は自然な土感の仕上がりとなる  | ○<br>舗装後は自然な土感の仕上がりとなる  |
| 維持管理性 | ○<br>補修可能<br>※小ロットはやや割高   | ○<br>補修可能<br>※小ロットはやや割高   | ○<br>補修可能<br>※小ロットはやや割高  | ○<br>既製品のため取り替え可能   | ○<br>取り替え可能<br>※天然素材のため色合いには注意が必要   | △<br>はがれや変色が生じた場合局部的な打ち替えが必要  | ○<br>粉塵が立ちにくい<br>はがれや変色が生じた場合表面処理剤の散布が必要  |
| 施工性   | 容易  | 養生が必要   | 容易   | 敷き並べる必要がある  | 敷き並べる必要がある  | 容易  | 容易  |
| その他   | —   | 車両対応可能  | —  | 脱色As舗装と色合いを合わせることが可能<br>車両対応可能  | 車両対応可能  | —   | 降雨後の水たまりの発生を軽減することができる  |
| 経済性   | ○   | ○   | ○  | ○   | △   | ○   | ○   |
| 総合評価  | ◎ 園路に適している (歩行性等を検証して選定)  |   | × 適していない   | ◎ エントランスに適している  | ◎ 部分的な利用に適している (縁石等)  | × 適していない  | ◎ 広場に適している  |

# 木材（ウッドデッキ、ベンチ）の比較

## ■木材の経年変化イメージ

設置場所の環境や、管理状況によっても異なるが、一般的に銀色に経年変化していく



| 仕様   | 国産スギ材<br>亜鉛含浸処理                       | 国産ヒノキ材<br>AZNA処理                                    | 国産杉材<br>ACQ処理      | イペ材<br>(南洋材)  | 合成木材  |
|------|---------------------------------------|---|--------------------|---|---|
| 事例写真 |                                       |   |                    | <br><a href="http://www.spacewood.co.jp/00d04.html">http://www.spacewood.co.jp/00d04.html</a> | <br><a href="http://item.rakuten.co.jp/mokuzai-o/gm381393/">http://item.rakuten.co.jp/mokuzai-o/gm381393/</a> |
| 防腐処理 | 有機酸亜鉛<br>ポリエチレングリコール                  | 第四級アンモニウム化合物<br>アゾール<br>ネオニコチノイド化合物<br>ポリアルキレングリコール | 酸化第二銅<br>シプロコナゾール  | 防腐処理なし  | 防腐処理なし  |
| 景観性  | ○<br>自然な木材の色合いと素材感であり<br>公園や植栽との相性が良い | ○<br>自然な木材の色合いと素材感であり<br>公園や植栽との相性が良い               | ×<br>銅の成分により、緑色となる | ○<br>天然素材の色合いがあり、<br>素材感に優れる  | ×<br>プラスチックと廃木材を加工した<br>人工的な素材感   |
| 耐久性  | ○<br>15～20年程度                         | ○<br>15～20年程度                                       | ○<br>15～20年程度      | ○<br>20～25年程度   | ○<br>15～20年程度   |
| 安全性  | ○<br>無毒                               | △<br>低毒   | △<br>低毒            | ○<br>(ささくれた場合、鋭利になり危険)  | ○   |
| 経済性  | ○                                     | ○   | ○                  | △   | ×   |
| 総合評価 | ◎ 総合的なバランスが良い<br>(ウッドデッキ、ベンチに適している)   | ○ 総合的なバランスが良い<br>(ウッドデッキ・ベンチに適している)                 | × 適していない           | △ 耐久性が高い<br>(ウッドデッキに適している)  | × 適していない  |

ex.千代田区のカーボンオフセット事業の木材を使用

# 照明計画案

- ・公園全体としては防犯上必要な照度を確保する
- ・エントランス部や人が集まる場所は、人の行動が認識できる明るさを確保する
- ・照明器具は極力ベンチの中に組み込み、日中は目立たないシンプルなデザインとする
- ・全体を照らす照明は照明柱を用いる
- ・園路は庭園灯により安全を確保するように照らす
- ・形状のシンプルなものを選定し、素材及び色彩は数を増やさず、公園全体での統一性を図る

・庭園灯イメージ



・フットライト・イメージ



・ベンチ下 (デッキ下) 照明イメージ



## ■照度基準

○「公園電気設計の手引き」東京都建設局

表-1 E：公園種別毎の基本設計計算上の標準平均照度 (lx)

| 公園種別                         | 例          | 標準平均照度 (E)  |
|------------------------------|------------|-------------|
| 都心部の繁華な場所に位置し、特に夜間の利用頻度の多い公園 | 日比谷・上野     | 8 lx (6~10) |
| 平均的な市街地に位置し、夜間の利用頻度の多い公園     | 木場・光ヶ丘     | 5 lx (4~6)  |
| 郊外の住宅地に位置し、夜間の利用頻度の少ない公園     | 砧・葛西臨海・小金井 | 1 lx (~4)   |

## ○防犯灯の基準

### クラスA ※2

4m先の歩行者の顔の概要 (目・鼻・口の位置)が識別できる明るさ。



- 水平面照度(平均値)※3：5ルクス
- 鉛直面照度(最小値)※4：1ルクス

### クラスB ※2

4m先の歩行者の顔の向きや挙動姿勢などが分かる明るさ。

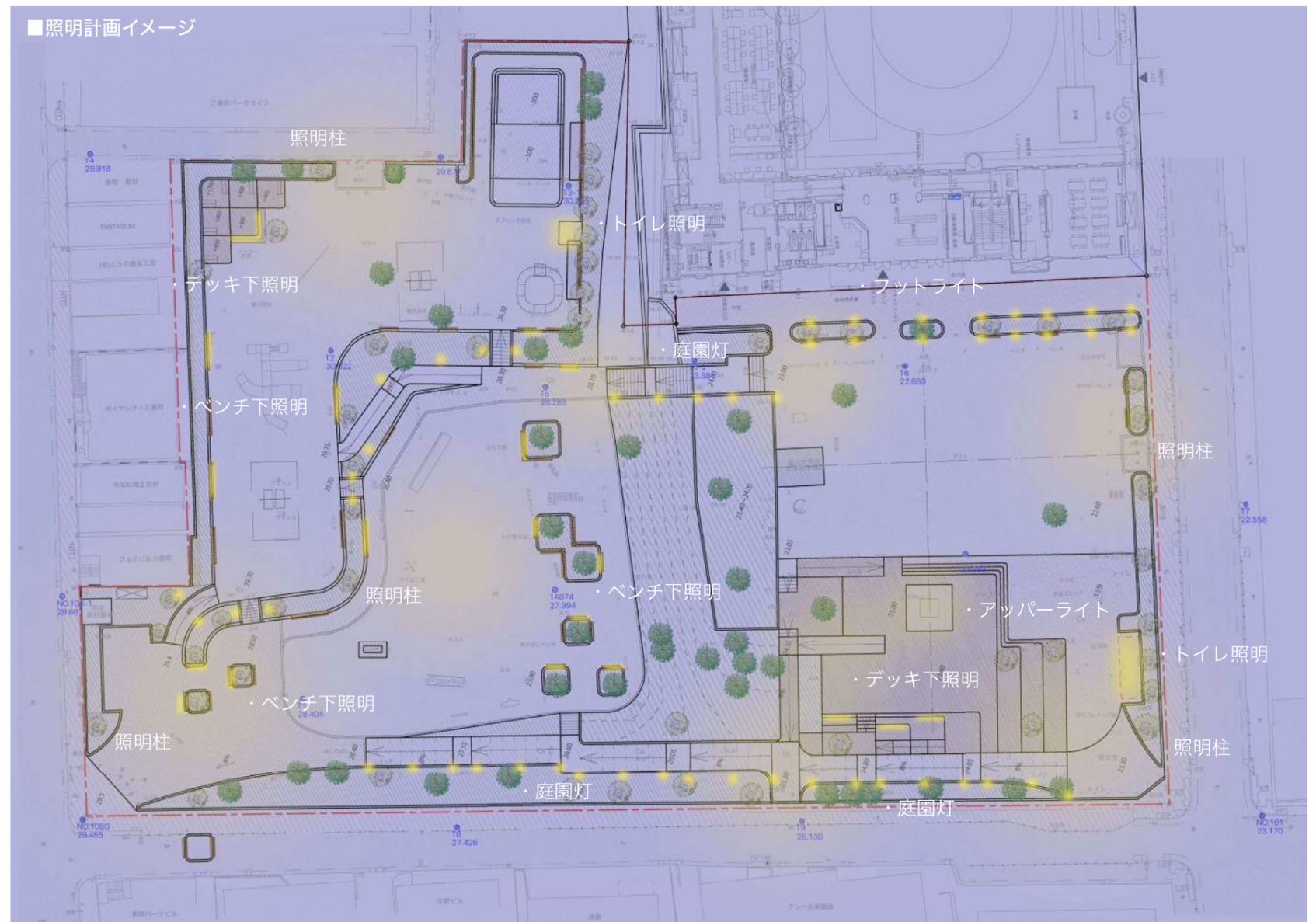


- 水平面照度(平均値)※3：3ルクス
- 鉛直面照度(最小値)※4：0.5ルクス

[http://www.iwasaki.co.jp/product/lighting\\_field/road\\_tunnel/anticrime/](http://www.iwasaki.co.jp/product/lighting_field/road_tunnel/anticrime/)

→平均照度5lx以上とする  
(防犯灯の基準+子どもの利用にも配慮)

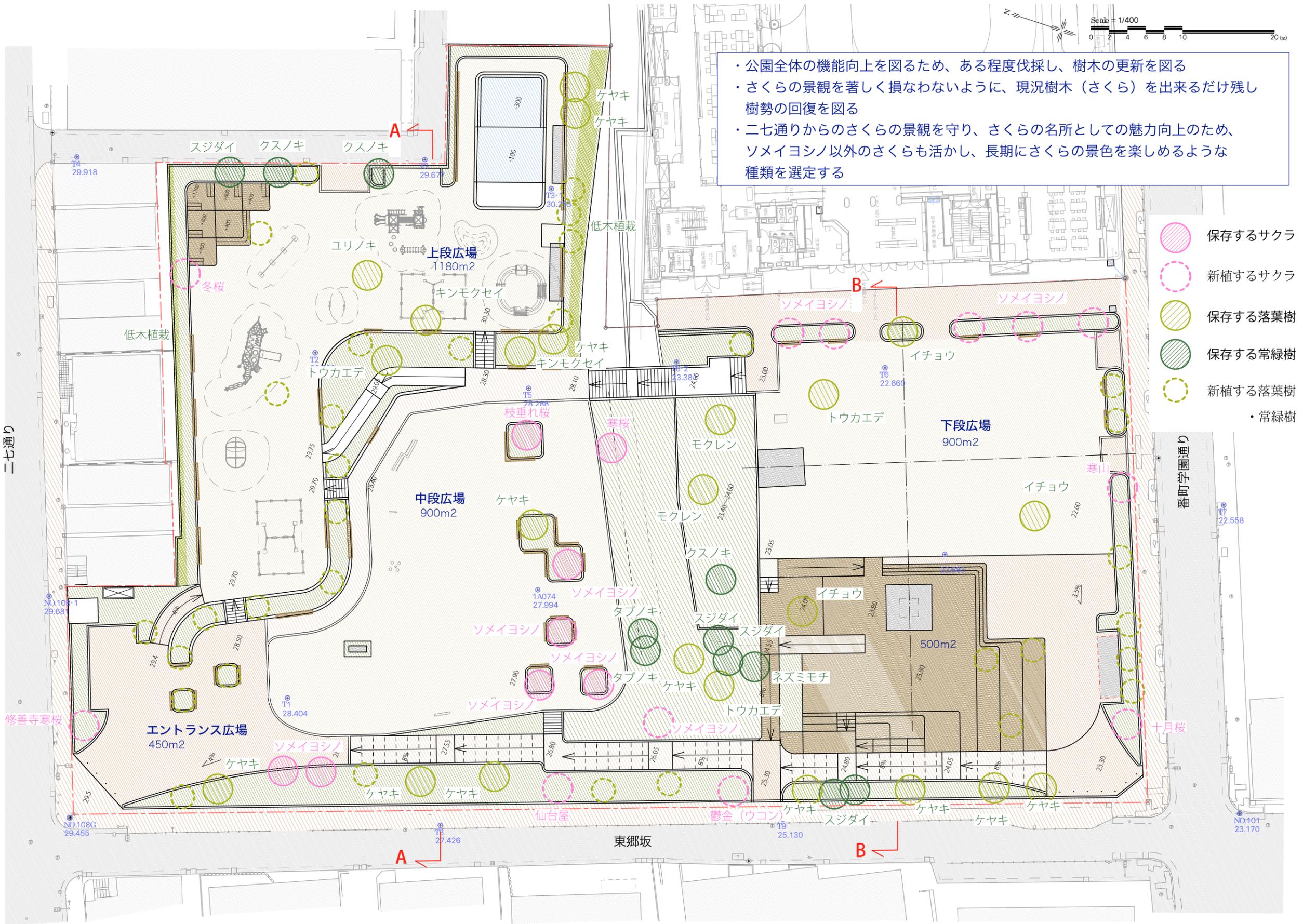
## ■照明計画イメージ



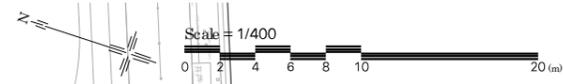
# 照明の比較

| 仕様              | 水銀灯   | ナトリウムランプ  | LED (A案)  | LED (B案)  | 庭園灯・フットライト (LED)  |
|-----------------|---|---|---|---|---|
| 事例写真            |  |  |  |  |  |
| 景観性             | △<br>灯具が大きくなる傾向があり<br>景観性に乏しい   | △<br>灯具が大きくなる傾向があり<br>景観性に乏しい   | ○<br>灯具を小さくすることが可能であり<br>景観性に優れる  | ○<br>灯具を小さくすることが可能であり<br>景観性に優れる  | ○<br>灯具を小さくすることが可能であり<br>景観性に優れる  |
| 照度特性            | —   | —   | 直下の照度が高くなる  | 灯具の向きによって分散させる<br>ことが可能   | 歩道面のみを明るく照らすことができる  |
| 演色性<br>(色の再現性)  | ○   | △   | ○   | ○   | ○   |
| 公園の利便性          | 足元を照らすため、<br>直下の利便性は劣る  | 足元を照らすため、<br>直下の利便性は劣る  | 足元を照らすため、<br>直下の利便性は劣る  | 光に方向性を持たせるため<br>公園利用の妨げにはならない   | 光に方向性を持たせるため<br>公園利用の妨げにはならない   |
| 交換周期<br>(維持管理性) | 6年 (24,000時間)<br>(4,000時間/年 点灯の場合)  | 6年 (24,000時間)<br>(4,000時間/年 点灯の場合)  | 15年 (60,000時間)<br>(4,000時間/年 点灯の場合)   | 15年 (60,000時間)<br>(4,000時間/年 点灯の場合)   | 15年 (60,000時間)<br>(4,000時間/年 点灯の場合)   |
| 経済性 (イニシャルコスト)  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |
| 経済性 (ランニングコスト)  | △   | △   | ○   | ○   | ○   |
| 総合評価            | × 適していない<br>※水銀灯ランプは生産中止予定  | × 適していない  | △ 適していない  | ○ 適している   | ○ 適している   |

# 植栽計画案



・公園全体の機能向上を図るため、ある程度伐採し、樹木の更新を図る  
 ・さくらの景観を著しく損なわないように、現況樹木（さくら）を出来るだけ残り樹勢の回復を図る  
 ・二七通りからのさくらの景観を守り、さくらの名所としての魅力向上のため、ソメイヨシノ以外のさくらも活かし、長期にさくらの景色を楽しむような種類を選定する



二七通り

番町学園通り

東郷坂

## さくらの名所づくり

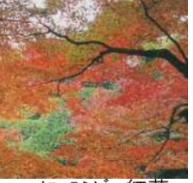
- ・できるだけ長期間桜が観賞できるようにする。
- ・ヤマザクラ、マメザクラ、エドヒガン群など多様な群、種を楽しめるようにする。
- ・淡紅、白、紅、黄緑等多様な花色が楽しめるようにする。
- ・一重咲、八重咲、菊咲等多様な花形が楽しめるようにする。

| 開花時期     | 3月  |  |   | 4月   |  |  | 5月   | その他の時期  |
|----------|---|--|---|--|--|--|--|---|
|          | 上旬  | 中旬   | 下旬  | 上旬   | 中旬   | 下旬   | 上旬   | 秋から冬（二季咲き）  |
| 残すもの     |  <p><b>1. 寒桜</b><br/>カンザクラ<br/>熱海桜とも呼ばれ、暖かい地方では1月から開花する。（東京では3月上旬）。寒冷地には適さない。<br/>[一重咲、淡紅、カビザクラ系]</p>    |  |  <p><b>10. 紅枝垂</b><br/>ベニシダレ<br/>枝垂桜は江戸彼岸の変種で、本種は中でも花色が特に濃い品種。寿命が長く大木になる。<br/>[一重咲、紅、イトヒガン系]<br/>※三春滝桜の子孫<br/>※三番町町会記念樹</p> |  <p><b>13. 染井吉野</b> ソメイヨシノ<br/>お花見の桜として親しまれている。成長が早く極めて大きくなるが、てんく葉病にかかり易い。<br/>[一重咲、淡紅、ソメイヨシノ系]</p> |  |  |  |   |
| 新たに植えるもの |  <p><b>4. 修善寺寒桜</b><br/>シュゼンジカンザクラ<br/>伊豆の修善寺境内に原木がある。大木となるが枝は横に広がらない。3月中旬に開花。<br/>[一重咲、紅紫、カビザクラ系]</p> |  <p><b>7. 江戸彼岸</b><br/>エドヒガン<br/>春、彼岸の頃に開花する野生の桜で、樹勢が強く大木となり寿命も長い。<br/>[一重咲、淡紅、イトヒガン系]</p> |   |  <p><b>19. 仙台屋</b> センダイヤ<br/>花色が紅色で美しいため名前が付けられた山桜系の品種。大木になるが枝はあまり広がらない。<br/>[一重咲、紅、ヤマザクラ系]</p>   |  <p><b>41. 鬱金</b> ウコン<br/>桜の中で黄緑色の花を咲かせるものは珍しい。樹勢は強く全国で栽培されている。<br/>[八重咲、黄緑、サトザクラ系]</p> |  <p><b>60. 極楽寺桜</b><br/>ゴクラクシザクラ<br/>兵庫県芦屋市の山中で極楽寺太一が発見した、霞桜系の美しい菊咲きの品種。<br/>[菊咲、淡紅、カミザクラ系]</p> |  <p><b>61. 十月桜</b><br/>ジュウガツザクラ<br/>10月頃から咲き始め、翌春にも咲く、年二回花を咲かせる珍しい桜。小彼岸系の品種。<br/>[八重咲、淡紅、ヒガン系、10月頃]</p> |  <p><b>62. 冬桜</b><br/>フユザクラ<br/>11月から12月にかけてと春に二度花を咲かせる。群馬県鬼石町の三波川冬桜はこの品種。<br/>[一重咲、白、ヤマザクラ系、11～12月]</p> |
|          |   |  |   |  <p><b>42. 関山</b> カンザン<br/>花は濃紅紫色で八重桜の代表的品種。桜湯として用いられる。<br/>[八重咲、濃紅、サトザクラ系]</p>                   |  |  |  |   |

※本資料の写真は、公益財団法人 日本花の会のパンフレット（平成19年4月版）[参考資料参照]より転載したものです。

# 四季の庭づくり

- ・ 花や葉色の変化により、季節感を感じられるようにする。
- ・ 多様な樹木などを観察できるように主要なものについてネームプレートを設置する。

| 観賞期 | 1月  | 2月   | 3月  | 4月   | 5月   | 6月  | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月   | 12月  |
|-----|---|--|---|--|--|---|--|--|--|--|---|--|
| 高木  |   | <br>ヤブツバキ・紅花・2～3月 | <br>コブシ・白花・3月          | <br>イロハモジ・新緑             | <br>カツラ・新緑            |   |  | <br>サルスベリ・赤花・白花他・7～9月 | <br>コナラ・トングリ              | <br>イロハモジ・紅葉          | <br>仔ヨウ・黄葉           |  |
|     | <br>サザンカ・紅・白花・11～2月  | <br>ウメ・桃色・白色・2～3月 |   | <br>ハナミズキ・白花・紅花・4～5月     | <br>ナツハキ・白花・桃花・6～7月   |   |  | <br>ムクゲ・花・7～10月       | <br>クヌギ・トングリ<br>シラカシ・トングリ | <br>カツラ・黄葉            |   |  |
| 低木  | <br>カンパキ・紅花・11月～2月 |  | <br>ユキヤナギ・白花・3月～4月   |  | <br>トサミズキ・白・紅花・5月   | <br>ヒヨウナギ・黄花・6月～7月 |  |  |  |  |   | <br>カンパキ・紅花・11～2月 |
|     |   | <br>アセビ・白花・3～4月 |   | <br>アジサイ・紅・紫・白花・6月～7月 |  |   |  |  |  |  |   |  |
|     |   |  | <br>トウカシツツジ・白花・4～5月 | <br>ツツジ類・紅・紫・白花・5～6月  |  |   |  |  |  |  | <br>トウカシツツジ・紅葉・11月 |  |
| 地被類 |   |  | <br>アジュガ・紫色・4～5月    |  | <br>ヒメカミノール・紫色・4～7月 | <br>トウコウキ・黄花・6～9月  | <br>斑入ヤブラン・8～9月 | <br>マツバギク・紫・6～10月   |  | <br>矮性アヘリア・淡紅・6～11月 |   |  |

民地境界（遮蔽機能のあるフェンス等）

| 境界種類  | 目隠しフェンス（高質）   | 目隠しフェンス（標準）   | 緑化フェンス  | 生垣  |
|-------|---|---|---|---|
| 事例写真  |   |   |   |   |
| 特色    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々の高質なイメージの目隠しフェンス</li> <li>・ 小スペースでの設置が可能である</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準的なタイプの目隠しフェンス</li> <li>・ 小スペースでの設置が可能である</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メッシュフェンスなどにつる性植物を這わせる</li> <li>・ 小スペースでの設置が可能である</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単一又は複数の樹種により生垣をつくる</li> <li>・ 生垣自体がある程度の幅を必要とするため、十分な植栽スペースを必要とする</li> </ul>   |
| 景観性   | ○<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素材やデザインを選定することで様々のイメージが可能である</li> <li>・ 前面への植栽の配置による修景が可能である</li> </ul>   | ○<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設自体の景観性はやや劣る。</li> <li>・ 前面への植栽の配置による修景が可能である</li> </ul>   | ○<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑によるやわらかい境界が形成される</li> <li>・ 前面への植栽の配置による修景が可能である</li> </ul>  | ◎<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑によるやわらかい境界が形成される</li> <li>・ 前面の植栽と一体となった良好な景観が形成される</li> </ul>   |
| 維持管理性 | ○<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的にはメンテナンスフリーである</li> <li>・ 経年変化による遮蔽機能の低下はない</li> <li>・ 耐用年数が過ぎた時点で更新が必要となる</li> </ul>                              | ○<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的にはメンテナンスフリーである</li> <li>・ 経年変化による遮蔽機能の低下はない</li> <li>・ 耐用年数が過ぎた時点で更新が必要となる</li> </ul>                                  | △<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的にはメンテナンスフリーである</li> <li>・ 植栽が枯れあがった場合には遮蔽機能がやや損なわれ、補植等が必要となる</li> <li>・ 耐用年数が過ぎた時点でフェンスの更新、植栽の植替えが必要となる</li> </ul>     | △<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な維持管理（刈込み）を必要とする</li> <li>・ 下枝が枯れあがったりした場合には遮蔽機能がやや損なわれる</li> <li>・ 維持管理が良好な場合には半永久的に利用できる</li> </ul>                  |
| 経済性   | ×<br>高価   | △<br>やや高価   | ○<br>標準的  | ○<br>標準的  |
| 総合評価  | △<br>通常の維持管理で遮蔽機能が維持されるが、整備時、更新時の経済性が劣る   | ○（採用）<br>通常の維持管理で遮蔽機能が維持され、整備時、更新時の経済性が高い   | △<br>維持管理はほとんど必要ないが、植栽が枯れあがった場合には遮蔽機能が損なわれる場合がある  | △<br>維持管理に手間がかかること、良好な維持管理ができないと遮蔽機能が損なわれる場合がある。区施工による通常の公園管理では十分な機能の維持が困難  |